

新見市男女共同参画情報紙



りぼん

vol.26
2018.8



減らす災害 増やす安心
気付いて活かす わが新見

今回の『りぼん』は、“各地域で続けている防災活動”にスポットを当て、新見市機能別消防団員や消防団大佐分団員・哲多分団員、正田地区自主防災会のみなさんに、活動状況などを伺いました。



《市内で発生した土砂崩れや倒木、河川増水の様子》



「新見市機能別消防団員」に聞いてみました

※「機能別団員制度」とは個々の能力や事情に応じて、特定の消防団活動にのみ参加する団員を認める制度です。



新見公立短期大学
河島優菜さん、高橋風帆さん

Q、入団のきっかけを教えてください。

勧誘がきっかけで、消防団活動に興味を持ち入団をしました。

Q、どんな活動をしていますか？

消防イベントに参加した時、啓発活動のため避難訓練についての紙芝居をしたことがあります。幼児教育学科で学んでいることが役に立ったので、とてもうれしく思いました。操法訓練

大会（模擬消火訓練）にも参加したことがあります。消防団は、災害時以外は何も行っていないイメージでしたが、団員のきびきびした動作を見て感銘を受けました。このほか、消防団の式典などにも参加しています。

Q、これからの活動に対する思いを教えてください。

消防団活動の中で、ここ新見市の良いところをアピールする工夫をしていくことができれば良いと思います。

機能別消防団員の活動期間は、現在、2年間なのでとても短く感じています。4年制大学になれば期間が長くなるので、活動機会が増えると期待しています。



高梁川総合水防演習

「新見市消防団哲多分団員」に聞いてみました



栗本洋子さん

Q、入団のきっかけを教えてください。

勧誘がきっかけです。一人での入団は勇気がいるので、他の人と一緒に入団しました。入るまでは、自分に勤まるのか…、家の用事もあるし…、とても不安でした。

Q、入団して良かったことは何ですか？

消防団員の団結力のすばらしさを身近で感じる事ができます。また、地域の人の命と財産を守る活動に携わることができてやりがいを感じています。防災啓発活動の一環で、寸劇

をしたことがあります。方言を取り入れたことで、身近に感じてもらうことができました。また、地域の防災訓練に参加すると、教える立場になるので誇らしく感じます。

一番うれしいのは、私が消防団の制服や活動服を着ていると、こどもが「かっこいい」と言ってくれることです。



敬老会での啓発活動

Q、消防団員として伝えたいことを教えてください。

人とのつながりや地域との関わりを大切にすることが防災につながると思うので、地域に関心を持ってほしいです。

また、災害があったときに、人に寄り添ったり、心のケアなど、女性団員だからこそできる

こと、気がつくことがあると思います。私たち女性消防団員の活動に、一人でも多くに人が関心を持ち、女性団員がもっともっと増えてくれたらいいなと思います。



「新見市消防団大佐分団員」
に聞いてみました



大佐ふるさとまつり
(三輪車レース)での啓発活動

Q、入団のきっかけを
教えてください。

勧誘がきっかけです。父親が消防団員だったので、消防団は身近な存在でしたし、興味もありました。また、子育てが落ち

着いていたことも大きいです。

Q、入団してみたいかですか？

はじめは知識がないので、何をしたらいいかわかりませんでした。男性団員と違って、私たちは現場に出ることができません。女性団員で何ができるかを考えたとき、やはり啓発活動であると確認しました。私たちが入団しているという行為そのものが、消防団の啓発につながっていると思います。

実際に団員として活動してみると、仲間意識や、防災に対する意識が高まりました。



Q、どんな活動を
していますか？

最近では、楽しく学べることも向けの啓発活動をしました。ちよっとした不注意で火事にな

るといふ火事の怖さを、紙芝居を使って伝えました。また、煙に巻かれない方法を伝えるため、煙の方が空気より軽いので地面を這うように避難する方法を、シーツを煙に見立てて実演しました。

昨年、大佐ふるさとまつりの三輪車レースに出場し、背中にメッセージを付けた活動服で勧誘や活動啓発を行い、たくさんの人に喜んでもらいました。

この他、女性団員の県大会や全国大会などに参加し、情報交換をしています。避難場所での女性団員の役割の大きさを認識するなど、とても良い刺激になっています。



こども向けの啓発活動(徳永素子さん、宮地忍さん)

「新見市消防本部職員」に
聞いてみました

Q、どんなお仕事ですか？

団本部会議や幹部会議、操法大会等の日程調整、表彰者の報告、出勤報告など、約1、200人いる新見市消防団員の調整役を担っています。

この他、機庫や防火水槽、消防車両など、消防団の施設管理もしています。

Q、女性消防団員にどんな
ことを期待しますか？



総務課消防団係 山室俊介さん

消防団員は、地域を守る消防団として、危険と隣り合わせの

中、ボランティアで幅広い活動をしていきます。

消防団員が少なくなってきた中で、女性団員がどのようによりよい活動ができるかを、みんなで模索しています。

現在も取り組んでもらってませんが、消防団活動の紹介、火災予防や防災の啓発など、地域に根ざした活動を行ってもらいたいと期待しています。

「正田地区自主防災会代表者」に聞いてみました



林司朗さん

Q、どんな活動をしていますか？

この防災会は、平成24年3月に既存の振興会の中で設立され

ました。現在の加入戸数は約350戸です。

主な活動として、毎年実施している自主防災フェアがありま

す。この防災フェアでは、災害に対する危機感と防災意識を高めるため、こどもたちと一緒に「まち歩き防災マップ」を作ったり、炊き出しや救急法の講習会を行ったりしています。その他にも、要援護者台帳の整備や研修などを実施しています。

Q、自主防災会を設立して、よかったことは何ですか？

自主防災フェアや要援護者台帳整備などの活動をとおして、住民同士のつながりが深まり、共助による地域防災力の強化や地域活性化が図られています。

Q、今後、取り組んでみたいことはありますか？

新見市は災害が少ないまちですが、いつ何が起るかわかりません。地域住民の防災意識を高めるにはどういった工夫をすればよいか、いつも考えていま

す。

今は、学校と地域が連携・協力して防災に取り組むことが大切だと感じています。このため、避難所の設営といった防災訓練を中学校と連携して実施してみたいのです。



まち歩き防災マップづくり



いつでも避難できるんだzzz...

編集後記

編集委員 谷岡奈央

今回は、消防団にスポットを当て、男女の共同参画について考えました。

消防団の組織に女性加わることで、避難場所でのスムーズな情報交換や、きめ細やかな気遣いができ、さらには避難した方々への心のケアが充実するなど、救助活動の質の向上が図られることがお分かりいただけたと思います。

女性ならずとも、男性の中にも介護の視点や心のケアの視点をもった人がいることで、あるいは若い人ばかりではなく中高年の方が組織にいて、また違う視点から救助活動、避難場所での役に立つことがあることもご理解いただけたかと思えます。

実際に災害が起こったある地域に行った時に聞いた話が、今でも脳裏に焼きついてます。その地域は災害に備えて避難方法や避難先での想定される活動について訓練をしていたそうです。

しかし、いざ災害が起こると、一番役に立ったのは、訓練で身に付けたスキルよりも「ご近所の人と、普段どれだけ仲良くしていたか（コミュニケーションをとっていたか）だそうです。日頃仲良くしておけば、お互いに勇気が出るし、誰がどんな助けを必要としているかが分かると言っています。

今回は、地域の自主防災組織についても取り上げましたが、私たち一人ひとりが被災の「キーパーソン」なのだという意識を持つことが必要なのではないでしょうか。

気温の高い日が続く、私はいささか胃の調子を崩しており、薬を服用しています。消防団と胃薬はよく似ていますね。どちらも「消火（消化）」を助けてくれますから。皆さまも暑い中大変ですが、どうか体調にはくれぐれもお気を付けになり、暑い夏を乗り切りましょう。